

2 研究の実際 > (2) 授業の実際 > ウ

活動案 (高等学校 1 時目)

◆本時のねらい: グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができるようにする。

◆本時の展開

学習活動	教師の働き掛け
1 3時間の学習活動の目標と本時のめあてを知る。 【1分】	○3回の授業で、自分や友達の「強み」を見付け、伝え合う活動を通して、自分や友達の「強み」を知る学習をしていくことを伝える。
【本時のめあて】 自分や友達の「強み」を知ろう	
2 構成的グループエンカウンター「同じところ探しゲーム」の活動を行う。 【10分】 交流活動 (4人)	○互いに意見を出し合ったり話し合ったりすることにより、親和的な雰囲気づくりをする。 ○「好きな食べ物」というテーマで活動することにより、次の「自分Webbing」の活動につなげる。
3 「強み」(ストレングス)について知る。 【3分】	○スライドを提示し、「強み」の定義と「強み」を理解するポイントについて説明する。
4 「自分Webbing」の活動を行う。 【30分】 交流活動 (4人) (1) 自分に関すること(好きなものや苦手なことなど)を書く。 (2) グループの友達のワークシートに、友達の「強み」を考えて書く。 (3) 友達を書いてくれた「強み」と「自分Webbing」を参考に、自分の「強み」を考えて書く。 (4) 「聴き方のポイント」を知る。 (5) 自分と友達の「強み」を伝え合う。	○ワークシートを配付する。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。 ○授業者の「自分Webbing」を例示し、ウェビングの書き方を説明する。 ○他の教師が授業者の「自分Webbing」を参考にして考えた「強み」を例示し、友達の「強み」の考え方を説明する。 ○友達に「強み」を書いてもらったワークシートに目を通す時間を設ける。 ○他の教師が書いた「強み」と「自分Webbing」を参考にして考えた「強み」を例示し、自分の「強み」の考え方を説明する。 ○「聴き方のポイント」を知らせ、安心できる雰囲気の中で「強み」を伝え合うことができるようにする。 ○「強み」を伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにする。
5 本時の活動を振り返る。 【5分】 交流活動 (4人) (1) 振り返りシートに記述する。 (2) グループで気づきを伝え合う。	○振り返りシートを配付する。 ○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。
6 次時の活動を知る。 【1分】	○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。